

よしだ 議会だより



地域に見守られて通学

(榛南幹線道路を横断する中央小児童)

第74号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成26年8月発行
責任者 議長 八木 栄

平成26年第2回定例会	2 P
一般質問 5人が町政を問う	5 P
第8回議会報告会 & 出前会議	10 P
信号機設置 & 手話に関する意見書	13 P
委員会報告	14 P
おつかれさんです 川尻区交通安全活動グループ	16 P

耐震補強・大規模改修工事 2億4,192万円可決

入札内容	契約の方法	契約金額	契約の相手方
中央公民館耐震補強 および大規模改修工事	制限付き 一般競争入札	2億4,192万円	(株)平井組
中央小学校トイレ 改修工事	制限付き 一般競争入札	8,078万4千円	(株)山田組
コミュニティ広場 管理棟建築工事	制限付き 一般競争入札	6,728万4千円	大河原建設(株)

工事契約の締結

6月2日から17日までの会期で第2回定例会を開催し、26年度一般会計補正予算1件、条例の一部改正2件、工事契約の締結3件、専決処分事項の承認4件、町道の路線廃止および認定各1件、議員発議2件を審議した。

◎中央公民館耐震補強・大規模改修工事

問 ホール棟の面積が現在の約3分の2になっている。公民館のホールとしてベストな大きさは、

答 舞台と映写室を利用実績からなくした。新しいホールでは、椅子と机を置いた場合は94席、椅子だけの場合は約150席設置可能で、これも昨年の利用実績から十分である。

中央公民館建設後に、学習ホールや図書館のホールを建設したので、大人数の集会などは学習ホール、良い音響が必要なコンサートは図書館のホールとすみわけできている。以上のことから中央公民館のホールを今回の設計にした。

問 ホール棟の工事費は全体工事の中でどのくらいか。

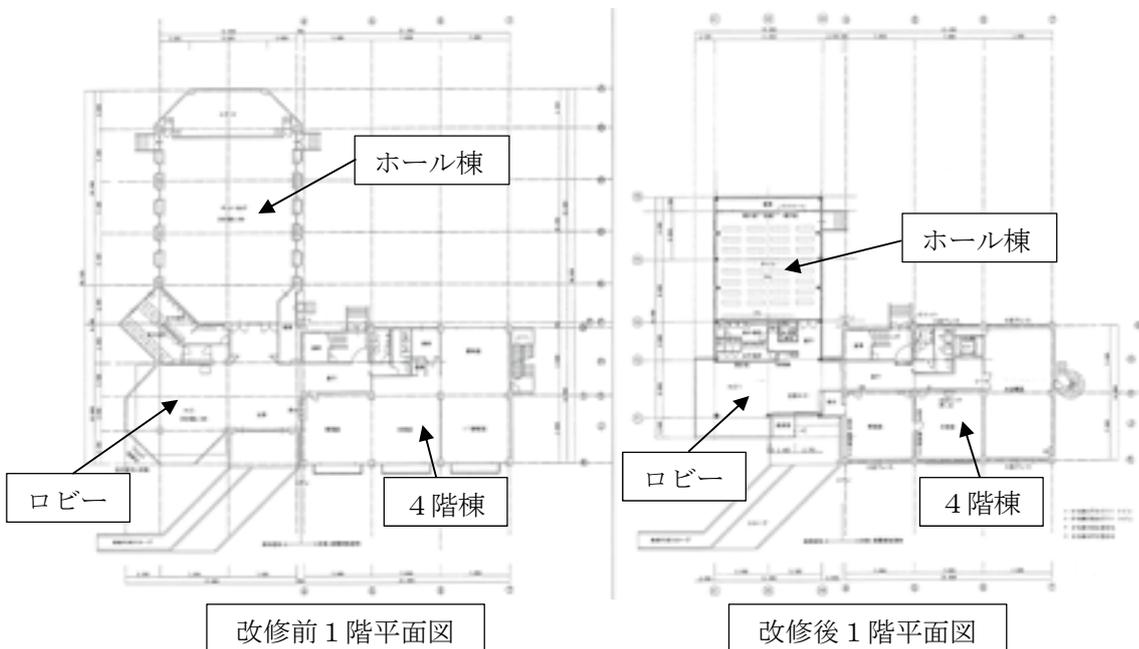
答 おおざっぱに言えば、35%である。

問 ホール棟の耐震補強ができないことが分かった時点で、当初の予算にこだわらず、新たに予算を作って生涯学習機能を有するホールを作ることとも可能だったと思うが、検討したか。

答 検討はした。中央公民館の最大の役割である生涯学習の拠点としての機能を十分果たすために今回の形がベストであると考えている。

問 今回の改修で耐震性を高める。災害時の拠点としての機能を持たすことも可能であると考える。その時、中央公民館の屋上に太陽光の発電機能を持たせることを考えないか。

中央公民館1階平面図
◎工事期間
26年6月6日から27年1月20日まで



これで安心 中央公民館

便器数比較

	改修前			改修後			個数増減
	用途	型	個数	用途	型	個数	
男子	大便器	和式	12	大便器	和式	0	±0
		洋式	6		洋式	18	
	小便器	床置き式	49	小便器	壁掛式	50	+1
女子	大便器	和式	40	大便器	和式	0	+1
		洋式	8		洋式	49	

◎中央小学校トイレ 改修工事

答 今回の工事は耐震補強が主目的で現時点で太陽光の設置は考えていない。しかし、今後、条件などについて研究し、その上で判断したい。

【全員賛成で可決】



中央小学校トイレ

問 今回の入札は制限付き一般競争入札で制限の内容は、静岡・島田土木事務所管内で中高校舎の5千万円以上の工事実績である。それだと町内の業者は排除される。

問 設備工事一式の中に汚水排水管の点検は含まれているか。

答 今回の工事の主な目的は悪臭対策である。汚水管の交換を行う。ただし、交換できない部分もあるので、そこは洗浄や汚物の除去で対応する。

答 検討はしたが、学校という特殊性から子どもたちの安全を第一と考え、実績を重視した。地元の経済の活性化は行政の主たる課題ととらえている。しかし、発注者側から受注者側に制約を加えることはできない。津波避難タワーと同様に、受注者から工事計画が提出され、下請けの業者が決まっている場合

答 検討はしたが、地域の活性化や地元への雇用創出の観点からなるべく地元業者を使うという観点はなかったか。

問 広場出入口に関して、周りに電柱や垣根があって車が出る際安全確認しにくい。対策は考えているか。

答 電柱の移転は周辺整備の一環で発注する予定で協議中

・(工事内容)
・構造 鉄骨平屋建
・規模 建築面積 320・25㎡
延床面積 309㎡
・工事期間 26年6月18日から27年1月16日まで
・施設内容 事務所、集会室、調理室、和室、倉庫、物入れ、トイレなど

合に町内業者をぜひ活用してほしいと言うことは町として対応したいと考えている。

【全員賛成で可決】

問 制限付き一般競争入札の条件を決めるルールはあるか。

答 実施要項があり、統一したルールで行われている。条件設定に関しては、第一義的にはおおむね20社以上参加可能な条件を見込む。その中で工事の特性や参入業者数がどうなるかを見込んで設定する。

中央公民館、中央小学校の入札制限工事期間は19年度以降としたが、本工事の条件を16年度以降に地方公共団体が発注したものに設定したのは、鉄骨平屋建てで技術的に過度な要求はなく、参入できる業者をできるだけ広げる意味合いで設定した。

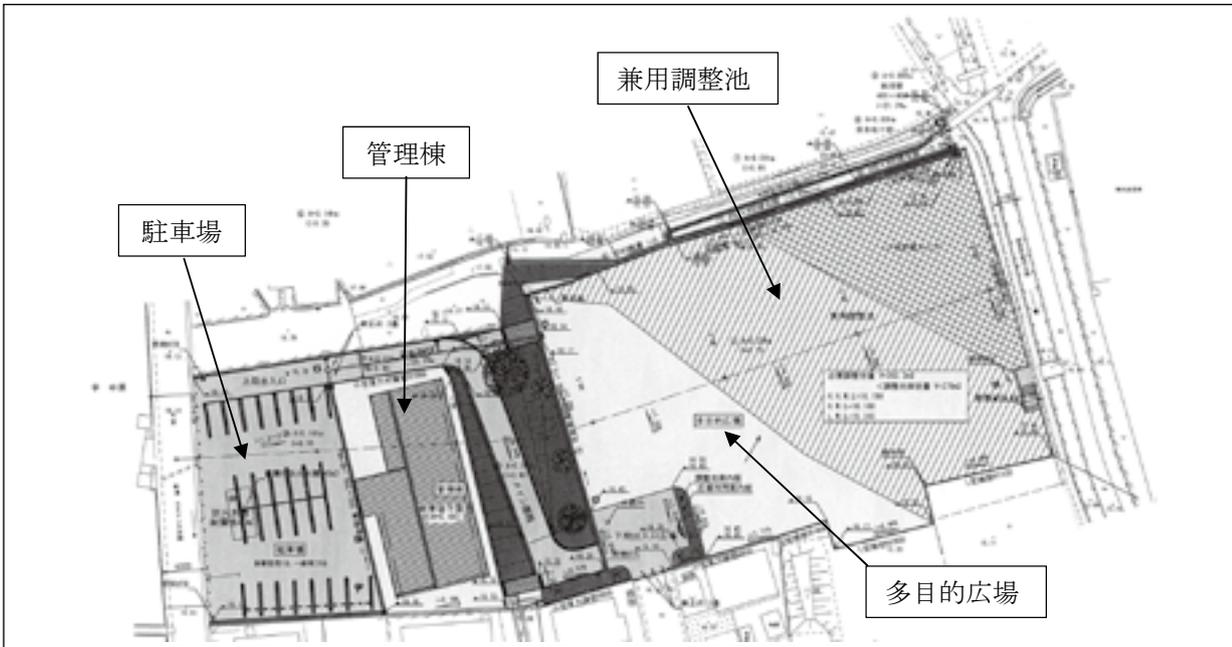
【全員賛成で可決】

ある。

入口の仕様に関しても付近の住民とどのような入口にしたらよいかを検討中である。

問 制限付き一般競争入札の条件を決めるルールはあるか。

答 実施要項があり、統一したルールで行われている。条件設定に関しては、第一義的にはおおむね20社以上参加可能な条件を見込む。その中で工事の特性や参入業者数がどうなるかを見込んで設定する。



一般会計補正予算

補正額：379万7千円 増額

(歳入)			
・ 使用料	45万1千円	減額	
・ 基金繰入金	424万8千円	増額	
(歳出)			
・ 図書館管理費	379万7千円	増額	

専決処分事項の承認

◎消防団員退職報奨金
(内容)
26年3月7日に公布された政令に従い、消防団員の退職報奨金をほとんどの階級、勤続年数で5万円増額する。ただし、勤続5年以上10年未満に関しては、従来から政令に対して多く支給していたので据え置きまたは増額幅を抑えた階級がある。

◎国保税の一部改正

(内容)
・ 後期高齢者支援均等賦課限度額
14万円 ↓ 16万円
・ 介護納付金賦課限度額
12万円 ↓ 14万円
・ 5割軽減を判定する所得の算定に世帯主を含める
・ 2割軽減の算定で被保険者に乗ずる金額
35万円 ↓ 45万円

町道の廃止・認定

◎町道の路線廃止
(内容)
東名川尻幹線の供用を開始するにあたり、町道の10路線が分断されるために廃止する。
問 廃止した町道で必要でない土地ができた場合、売却による税込確保と土地の有効利用が考えられるが、実績はあるか。
答 最近の実績はない。
【全員賛成で可決】

問 図書館監視カメラの増台数とその理由は。
答 4台から8台に増やす。お客さん同士の接触や夏に玄関前でたむろする人の監視、通路への自転車放置などに職員が対応するために増台する。
【全員賛成で可決】

問 政令の公布は3月7日に行われている。3月議会に追加議案として上程せず、何故、専決処分としたのか。
答 県から文書が3月12日付けで出され、14日に受け取った。それから改正事務を進めたので議案を提示できなかった。
【全員賛成で承認】

問 改正による国保財政への影響は。
答 25年度の賦課資料をもとに試算した結果、後期支援分は約220世帯、介護分は約80世帯で金額合計は約600万円になる。

◎町道の路線認定
(内容)
分断のため廃止した10路線を改めて16路線として認定する。
【全員賛成で可決】

問 軽減世帯の対象が増えれば、歳入が減ることになる。その対応は。
答 軽減世帯の対象が増えれば、歳入が減ることになる。その対応は、保険基盤安定繰入金金の保険税軽減分に対応する。
【全員賛成で承認】

問 軽減世帯の対象が増えれば、歳入が減ることになる。その対応は。
答 軽減世帯の対象が増えれば、歳入が減ることになる。その対応は、保険基盤安定繰入金金の保険税軽減分に対応する。
【全員賛成で承認】



町政を問う

藤田和寿議員

問 未来の担い手、若者会議の設置について

答 若者だけでなく、町全体で考えていく

28年から始まる次期総合計画の策定に向け、住民意識調査が行われ、作業が始まった。
私は、未来の担い手である若者世代の参画が必要と考え、京都市の事例に基づき考えを聞いた。

問 まちづくりに関する住民意識調査方法は。

答 吉田町在住の満3000人を無作為に抽出し昨年度実施した。過去調査では、各年代比と男女比ともに、大比均等の傾向である。

問 過去行っていないか、かつ世代別や男女別の分析も、必要と考えるか。

答 集計前であり、クロス集計方法について、従来手法にとらわれず幅広く検討する。

未来の担い手・若者会議U35（京都市基本計画に係る21年9月に設置）	
活動趣旨	若者ならではの観点から「基本計画」について意見を取りまとめ提出。基本計画の策定過程において、市民からの提案を集める事業を支援する。
目標成果	若者提案・市民参画事業のサポート（シンポジウムおよびパブリックコメント企画・実施の支援）・情報発信のサポート（基本計画審議会の傍聴記を発行し市民へ周知する）
構成	京都にゆかりのある、概ね18歳以上35歳未満の若者26人
協同	京都市の若手公募職員で構成される次期京都市基本計画策定支援プロジェクトチーム

問 京都市が行った若者会議を、わが町も設置して、若者の参画を図る考えは。

答 若者の意見は非常に大切であるが、認識しているが、状況に応じて住民参画手法を取り入れていくので、現在の段階では、若者会議という具体的なものは考えていない。

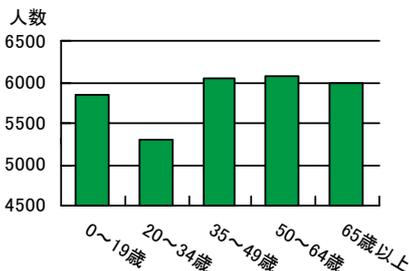
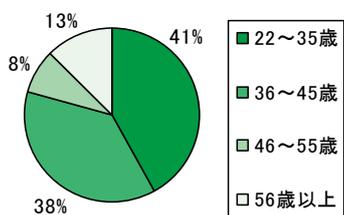
問 若者の参画のひととして出席を伴わない意見聴取の方法がある。フェイスブックやツイッターなどのSNSツールの導入は。

答 今後については、イベントなどで、参加者と触れ合いながら意見をいただく手法を活用しながら、インターネット媒体だけでなく、生の声も重視していく。

問 県立吉田公園設置につなげた職員の花博誘致プロジェクトのように、若手職

員による組織横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、町の将来プランを求めています。

答 職員は、各分野で課題を把握し、将来ビジョンと知識を持っていくので、主体的に参加していく。また全体を協議する場も設けるのでその中で意見集約する。



職員年齢構成 26/3/31現在

22年吉田町国勢調査結果



町政を問う

増田 剛士 議員

問 津波避難タワーから避難所への避難行動計画は

答 浸水区域外に10の避難所を指定、避難行動の詳細は検討中である

津波避難タワー利用上の注意

- ・ 傷がいのある方、高齢者、妊産婦、幼児、怪我人等が困っている際は、上るのを手伝ってあげてください。
- ・ 階段の昇降には十分注意してください。
- ・ 手すりから身を乗り出さないでください。
- ・ 球戯（技）、ローラースケート類をしないでください。
- ・ 雷が鳴ったら、タワーに上らないでください。
- ・ デッキ部、階段部から物を落とさないでください。
- ・ 商品や陳列棚を置いて販売をしないでください。
- ・ 火器類を使用しないでください。
- ・ 花火、バーベキュー、飲酒をしないでください。
- ・ 大声を出して騒がないでください。
- ・ 落書き、ゴミ捨て、破損行為をしないでください。
- ・ 飼い犬に糞、尿をさせないでください。

皆様の良心的な使い方のおかげで、このタワーを綺麗な状態のまま次世代へ引き継ぐことができます。

3月末に完成した津波避難タワーの平常時の利活用について町の方針、タワー下の敷地の利活用について町の考えをただした。また非常時、津波警報などが発令された際は、津波避難タワーへ避難する計画は示されているが、その後の避難所への避難行動について計画が示されていないことについて町の計画を質問した。

問 津波避難タワーの平常時利活用に関し町の考え方は。

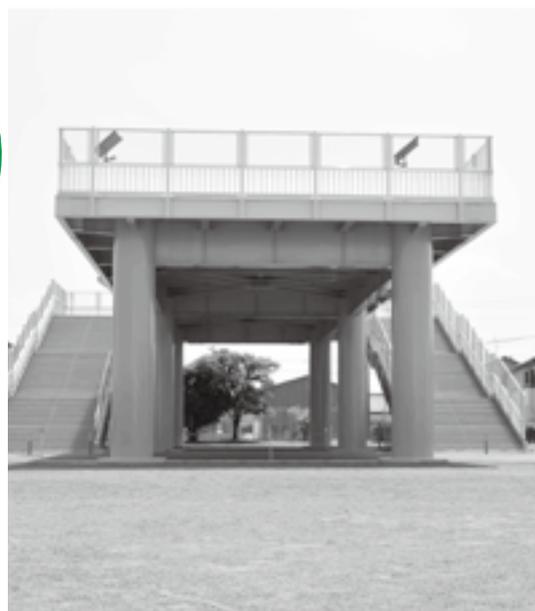
答 常時開放することにより安全管理に支障のない範囲で可能な限り利活用を図っていく考えである。

健康づくり課では、各タワーを結ぶウォーキングコースの作成を進めている。また、ラジオ体操や踊りの練習など、各地域での利活用が考えられ、自治会・町内会の皆様のご意見、ご提案により検討していく。



問 歩道橋型以外のタワー下の敷地を利活用としてベンチやテーブルを設置し憩いの場とできないか。

答 グレーチング部分では建築基準法上可能である。タワー本体と同様、敷地も適切な安全管理が求められるものである。



津波避難タワー J

問 タワーから避難所に移動する方法は。

答 自主防災会単位で移動することを考えている。タワー上に移動場所を掲示することを検討中である。

問 タワーに避難時の情報発信および受信の方法は。

答 同報無線が有力である。MCA無線、防災ラジオをタワーに配備することも検討できるが、これらの操作などについても検討しなければならない。



町政を問う

平野 積 議員

問 「目指すべき職員像」の達成度は 答 達成されていると思う

吉田町人材育成基本方針（平成20年10月）
吉田町職員の目指すべき職員像

- (1) 意欲的に職務に取り組み、柔軟に実行する職員
- (2) 社会情勢に対する幅広い視野を持ち、社会変化に対応する職員
- (3) 町民の立場に立ち、町民サービスの向上に主体的に取り組む職員
- (4) 効率的な行政運営を心掛け、計画的に職務を遂行する職員
- (5) 地域経営感覚を持ち、町民満足度向上のため、継続的に改善・改革を推進する職員

問 人を育てる時、将来像を描いても行うことが重要であると考えます。その前提となる職場の将来の姿、目指す姿は明確か。

役場の重要な資源である職員の育成をどのような考え方で、また、どのような方法で進めているのかを明らかにし、人材育成をより有効に進めるべく質問を行った。

研修内容の報告を受け、今後の研修派遣者の検討を行った。」とあるが、本人育成には研修

答 分野ごとの目標はある。しかし、各課には複数の分野があり、調整が難しい。

職員研修事業 単位：万円

年度	予算	決算	執行率
20	800	636.2	79.5%
21		714.6	89.3%
22		400.5	50.1%
23		528.5	66.1%
24		398.4	49.8%
25		269.5	33.7%

※25年度決算は見込額

答 予算がなくて研修に参加できない状況をなくすために予算を確保している。

問 研修については、毎年800万円の予算を付けているが、執行率は押しなべて約半分である。執行率を上げられないのであれば、その予算を町民の福祉に役立てられないか。

答 研修に行った場合、出張報告とアンケート記入は行っている。また、協議もしている。聞いています。

答 規定に基づく提案実績はない。しかし、若手職員の自主グループが役割ロビーのポスターが乱雑であったため、課ごとにスペースを決め、整理し見やすくした例はある。

問 人材育成の大きな目的は、「考え、結論を出し、自主的に動ける人を育てること」である。「考える」との観点から、役員には提案制度があるが、実績はどうか。また、グループで課題を見つけ、考え、議論し、解決していくような制度を作らないか。



役場ロビー改善例



町政を問う

大塚 邦子 議員

問 第2次男女共同参画プランの取り組みは

答 これからの社会は女性の活躍が必要不可欠と考え推進していく

問 町管理職の女性登用におけるポジティブアクションは。

答 県内市町の管理職に占める女性の割合について、市の平均値は10・5%、町の平均値は6・3%である。当町は、管理職17人に対して、女性管理職5人で、29・4%と県内市町の中で一番高い割合であり、全国一位を誇っている。今後も、性別によることなく、個人が個性と能力を十分に発揮できる職場環境を維持していく。

ポジティブアクション

あらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差を改善するために必要な範囲において男女のいずれかの方に対し、当該機会を積極的に提供すること。



女性フェスティバル

問 各種審議会などへの女性登用の目標は。

答 25年度における現状値18・7%に対して、28年度の目標値を25%と設定している。内閣府が掲げる「2020年30%」を見据え、それ以上になるよう取り組んでいく。

問 ワーク・ライフバランスの普及と実現に向けての環境整備は。

答 企業や事業所に対してワーク・ライフバランスの考え方を周知・普及していく

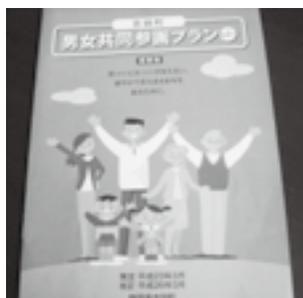
とともに、町民ニーズに合った保育サービスや放課後児童クラブなどの更なる充実を図る。

ワーク・ライフバランス

「仕事上の責任」と「仕事以外の生活においてやりたいこと」の両者の実現を目指す考え方。

問 「男性にとつての男女共同参画」の推進に向けた取り組みは。

答 吉田町男女共同参画プランに掲げた施策を総体的に進めていく。



吉田町男女共同参画プラン(第2次)パンフレット

学年	学習・取り組み
小1 小3	男女の違いと協力について
小4	男女の成長の違いと心の成長について
小5	ヒトの誕生の仕組みと生命尊重について

学年	学習・取り組み
小6	・市民平等、憲法理念について ・男性・女性の区別ない職業観について
中3	男女共同参画社会について

問 学校教育における男女の人権尊重の教育、その具体的な取り組みは。

答 児童生徒の発達段階に応じて指導している。特筆すべき取り組みは左図の通りである。



町政を問う

山内 均 議員

問 産業振興のためのふるさと納税制度の活用は

答 今は考えていない、環境が変われば対応は変えたい

ふるさと納税

- 1 個人が貢献したいと思う都道府県や市町村に寄附ができる。
- 2 その年の所得税と翌年の個人住民税が控除される。(確定申告を行う必要がある)
- 3 寄付者が寄附金の用途を選択できる。
- 4 特産品が取得できる。(送付については適切に良識を持って対応することが必要)

第1次安部内閣で制定

問 ふるさと納税制度を利用して、まちの活性化や施策の強化を図る計画を持たないか。

答 ふるさと納税は納税制度の形である。慎重に対応したいと考える。現在のところ本制度を利用したまちの活性化や施策の強化は考えていない。

問 21年度から25年度の統計によると、東日本大震災後の東北3県では24年度は大幅に上がった。静岡県・愛知県でも上がっている。25年度は下がったが21年度に約2倍の額になっている。この制度は定着しつつありのびる。産業振興の選択肢の一つとして必要ではないか。

答 産業振興は大事だし情報発信も大事であるが、ツールとして使うかは良識を持ちたい。

問 全国で多くの自治体が利用しているが、どのように考えるか。

答 ふるさと納税だけをとらえ、産業振興というものと分けて考えると、現在は過度の状態にある。「ふるさと納税研究会」で法制上の規制を加えるというのが望ましいと思っている。

寄附金額 統計表

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
岩手県	40,529	54,504	37,706	338,366	80,304
	1.00	1.34	0.93	8.34	1.98
宮城県	62,151	93,188	76,602	596,313	215,551
	1.00	1.50	1.23	9.59	3.46
福島県	45,452	38,094	110,313	243,935	215,551
	1.00	0.83	2.42	5.36	2.94
静岡県	196,656	188,844	124,024	1,158,007	296,040
	1.00	0.96	0.63	5.88	1.50
愛知県	317,692	293,025	303,926	3,714,706	688,136
	1.00	0.96	0.95	11.69	2.16

上段：金額 (単位：千円)
下段：倍率 (21年度基準)

資料：総務省

問 トルコキキョウで総理大臣賞を2回受賞した方や特許取得した特異な栽培方法がこれから出てくる。それらを応援し税と絡めていくことが必要と思うかどうか。

答 応援することは必要と思うが、ふるさと納税という手法を流通の中に入れていく考えはない。

問 ふるさと納税の活用はイノベーションを起こす素地を作るとい意味でも重要であると思うかどうか。

答 ふるさと納税については考えは変わらないが、環境が変わり「ふるさと納税研究会」の考えが変わるようなことがあれば対応は変えていきたい。

第8回議会報告会

皆さんの意見が議会を変える

議会は、報告会を開催して、町民の皆さんに議会活動を報告し、意見をいただいで議会に生かし、議会を変えるため、年2回予算および決算報告のあとタイムリーな話題を加えて行っている。第8回目の話題は、国民健康保険税を取り上げた。

※参加依頼は民生児童委員・保健協力委員

報告内容

26年度会計予算について

- ・ 26年度一般会計予算
- ・ 26年度特別会計予算
- ・ 25年度一般会計補正
- ・ 質疑内容

国民健康保険税について

- ・ なぜ今回国民健康保険税を改正するのか
- ・ 国保税の改正内容

開催日・会場

- ・ 5月19日 自彊館
- ・ 5月20日 片岡会館
- ・ 5月21日 住吉会館
- ・ 5月22日 川尻会館

参加人数	会場	自彊館	片岡会館	住吉会館	川尻会館	合計
	人数	43人	32人	36人	28人	139人
性別	男	24人	17人	15人	13人	69人
	女	19人	15人	21人	15人	70人
年齢別	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明
	8人	4人	17人	59人	22人	29人

質議内容

議会では、報告会でいただいた皆さんの意見を項目別に仕分け、総務文教常任委員会で11項目、産業建設常任委員会で9項目の調査をしました。他の分野も全員協議会などで協議して、ご意見を議会に反映します。

報告会での結果は、報告書を作成して自治会館などに設置させていただきます。

問 町民税収納目標がなぜ100%ではないのか。

答 常に100%の収納率を目指してはいるが、病気・失業など、特別な事情により納付が困難な場合や一度に納付できない方には分納をしたり納付相談を行いながら、収納率向上に努めている。

問 椋原総合病院の負担金4億4000万円は次年度も同じなのか。

答 病院建設の償却資産借入金分であり、吉田町と牧之原市の支払い分である。借入金残高が減少すれば

問 公共下水道事業外の補助事業は。

答 合併浄化槽の国庫補助金は、認可事業区域外について交付する。事業認可区域で整備に期間を要する場合には、町単独の補助金を交付している。

問 高齢者人材活用センターはどのような内容か。

答 町道高畑高島線沿いの用地1335㎡に230㎡のセンターを建設する。研修室などを整備し、高齢者の健康増進事業や趣味教養講座を開く予定である。

り、26年度内完成を目指す。

問 通学路にグリーンベルトやいたわりゾーンの表示が少なく、検討できないか。

答 優先順位を決め予算の範囲内で実施することを検討している。



通学路安全対策（表示）

問 子ども発達支援事業所における、重度障害児の支援体制はどうか。

答 重度障害児の支援体制はとっていないので、これまでどおりつくしの家で支援していく。

防犯灯整備実績・委託料					
	住吉区	川尻区	片岡区	北区	合計
設置数：24年度末	779本	401本	345本	380本	1,905本
設置数：25年度末	788本	405本	347本	390本	1,930本
実績：25年度	284万円	171万円	121万円	83万円	659万円
予算：26年度	286万円	147万円	126万円	142万円	700万円

問 防犯灯の電気料は自治会負担である。安くできないか。26年度、LEDの検討を始める。

意見交換会



問 北区防災公園の用途は。

答 仮設住宅建設や避難施設などの計画をしている。

問 国保税の医療分である所得割、資産割、均等割、平等割について、どのようにして決めているか。

答 国保運営協議会で審議された後、議会に提案され、決定する。

※吉田町における国民健康保険税

所得割：世帯の前年所得に応じて計算。前年所得×6.3%
 資産割：世帯の固定資産税に応じて計算。固定資産税×25%
 均等割：世帯の加入者に応じて計算。加入者1人当たり年額24,000円
 （夫婦、子ども1人のすべてが加入者の場合 24,000円×3人＝72,000円）
 平等割：1世帯に対して計算。吉田町は、2,800円

意見・要望

・話のテーマが決まっていれば話やすい。
 ・報告時間の短縮、意見交換の時間を長く。

片岡区



問 吉田高校の跡地はどうなっているのか。

答 特別支援学校になる。27年4月開校予定である。

問 吉田公園の命山はどうか。

答 県が国の補助を受け、26年度から2カ年で公園内に設置する予定である。

問 大雨の時、吉田たんぼは冠水するが大丈夫か。

答 吉田たんぼは灌漑事業であり、稲は水をかぶっても大丈夫である。排水を有効にするため坂口谷川の水門整備をお願いしている。津波対策としても必要である。



吉田たんぼ

意見・要望

・防災関連・交通安全状況など具体的課題をテーマにしてほしい。
 ・参加して良い勉強になった。税金についてはもう少し個人で調べることが必要であると感じた。

住吉区



問 町の借金はどのくらいあるのか。

答 25年度末が借金残高のピークで、一般会計約117億円、下水道事業約64億円、水道事業約30億円で、全体では約211億円となる。返済額のピークは30年度となり、その後徐々に減っていく。

問 国民健康保険給付費支払準備基金保有額が減った理由は。

答 21年度に値下げした以降改正していないが、想定以上に医療費が増えた。

問 津波避難シェルターはどのようなもので、どこに設置するのか。

答 20人収容できるシェルターを漁港内に設置する予定である。



導入検討中のシェルター

意見・要望
 ・もつと意見や要望を聞いてもらう方法を。
 ・初めて参加して勉強になった。皆さんの意見を議会に反映させてほしい。

川尻区



会議風景

問 榛南幹線道路で信号機のない横断歩道は危険である。この交差点への信号機設置はいつ頃になるのか。

答 自治会や町内会役員・PTA・議会などの立哨や署名運動を行い信号機設置の要求をしている。



榛南幹線

問 ジェネリック医薬品の促進は。

答 ジェネリック医薬品とは、新薬の特許が切れた後に販売される。新薬と同じ有効成分、同じ効き目の価格の安い薬の事である。医療費の上昇を抑制する効果があるので医師会にもお願いして、医療費を出来るだけ安く抑える努力をしている。

問 認知症患者さんの対策は。行方不明者のプライバシーなどの問題で発見が難しい。同報無線で名前を公表した方が早期発見につながる。広報はできないか。

答 多くの方々が各方面で協議してくれている。議会においても調査中である。

意見・要望
 ・報告会の議事録を自治会にほしい。

出前会議を希望するグループを求めています。

ご希望のテーマで、議会と意見交換をしませんか。

出前会議の目的

本年3月に制定した吉田町議会基本条例に基づき、町民の皆さんと町政や議会に関することをテーマに意見交換を行い、その意見を議会活動に反映させるために行います。

開催方法

町民のグループや団体、または町内で活動する皆さんからの申し込みにより、開催します。

出前会議の内容

皆さんから求められたテーマについて、議会と自由に意見交換する会議です。

Q & A

問 どのように申し込みすれば良いか。

答 お近くの議員まで、議会事務局にお問い合わせていただくか、申込用紙を議会事務局に提出して下さい。[詳細は町のHPへ]

問 どんなテーマでも良いのですか。

答 町政や議会に関する内容であれば、原則OKです。なお、申し込み後、議員全員でテーマについて協議させていただきます。

問 開催日の希望はできますか。

答 申込書に、第3希望日まで記入して下さい。調整させていただきます。

問 話を聞きたい議員を指名できますか。

答 1人では対応しませんが、希望にそう人選を行います。

問 場所はどこでも良いのですか。

答 申込者の手配で、公の施設（公会堂・集会場など）を用意して下さい。

信号機設置に関する意見書

議会では、かねてからの懸案であり、現在課題となつている交差点の安全を確保するため、地方自治法第99条の規定により、6月議会に「信号機設置に関する意見書」を全議員で発議し可決した。

意見書の背景

※過去に行つた議会報告会で、参加された皆さんから、交通安全施設の整備を求める意見を数多くいただいた経緯がある。

(具体的内容)

- ・幹線道路の整備に伴い、交通の流れが変わり、交差点事故が発生していること。
- ・通学路として利用している交差点に信号機が未だ設置してなく、事故が心配である。

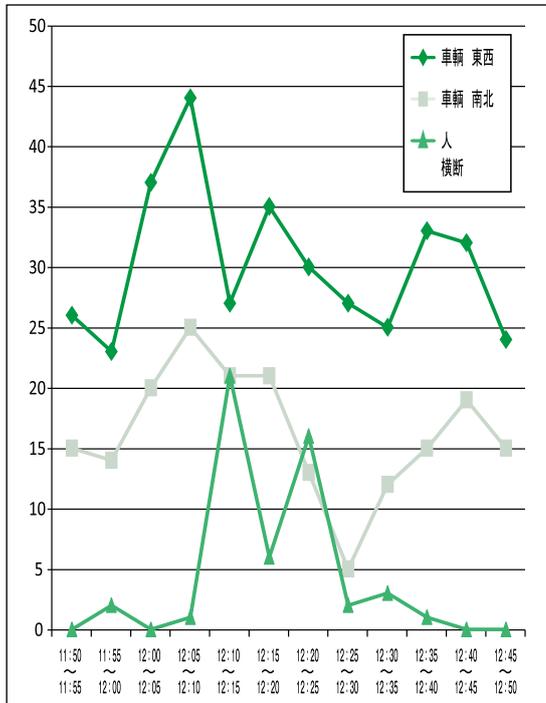
※さまざまな会合で、安全対策の更なる充実特に、信号機の設置を

求める意見が多い。
※自治会や町内会、そしてPTAにおいて、交通安全対策を求める要望が、関係機関へ寄せられている。

議会の動き

※議会として、供用開始した榛南幹線の5カ所の交差点で、4月24・25日の登下校時間帯に、横断歩行者と交通量の調査を実施。

☆榛南幹線と町道山通り浜河原線交差点の調査結果(一部)



- ☆当箇所(一部)の紹介(一部)
- ・ 牧之原署によるパトカー巡視および交通整理
- ・ 集団登校の実施
- ・ 保護者による引率
- ・ 地元町内会の立哨
- ・ 中央小PTAおよび教員の立哨
- ・ さわかクラブの立哨
- ・ ボランティアの立哨
- ☆他交差点調査箇所
- ・ 寄子浜河原2号線
- ・ 山向八軒屋2号線
- ・ 西中2号線
- ・ 東村浜河原3号線

- ※町との懇談会
- ・ 5月22日「幹線道路の安全対策について」
- ・ 5月29日「東名川尻幹線の安全対策について」

意見書の趣旨

交通網の整備は、県および関係機関のご尽力により進展し、町民の福祉の向上と地域経済の発展に大きく寄与している。しかし、通学路などの交差点においては、交通量の増加による危険性が予測され、通常にも増して交通安全の確保が要求される。

本議会は、人命第一と考え、痛ましい交通事故が起らないよう幹線道路の交差点に早急に信号機を設置する予算措置を講じるよう強く要望する。

【あて先】

静岡県知事
静岡県公安委員会

手話言語法(仮称)の制定を求める意見書

【要旨】

手話が日本語と対等な言語であることを示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の提供やコミュニケーションが保障され、自由に手話が使われる社会環境の整備を目的とし、以下の5つの権利を保障する手話言語法(仮称)を制定することを要求する。

- ① 手話を獲得する
- ② 手話で学ぶ
- ③ 手話を学ぶ
- ④ 手話を使う
- ⑤ 手話を守る

【背景】

手話は、聴覚障害者にとって、情報獲得とコミュニケーションの大切な手段である。

しかし、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

【全員賛成で可決】

総務文教常任委員会 調査報告

【調査事項】

「認知症の行方不明者への対応について」

○担当課

防災課

【調査の目的】

「行方不明者」を早期発見するための対策を調査。

【調査内容】

6月5日（木）委員会
 ・行方不明者の現状について「年代別と不明者数」を確認。
 ・事件発生から情報発信まで放送内容の流れを、高齢者支援課に説明を求めた。

【当局からの説明】

6月10日（火）委員会
○発生から放送の流れ
 ・家族が警察に捜索願
 ・警察から放送依頼書
 ・行政は広報内容作成
 ・放送
○放送時間
 午前6時から午後10時まで

○同報無線による行方不明者情報発信の現状

年度	同報無線放送数	65歳以上の不明者数
21年	6件	2人
22年	8件	6人
23年	5件	4人
24年	3件	3人
25年	6件	5人

【質疑応答】

問 行方不明者は、65歳以上に関し増加傾向では。
答 高齢者率の上昇で行方不明認知症の方は増える。

問 見守りリストの活用状況はどうか。
答 包括支援センターで認知症リストとして情報発信用として管理している。

問 行方不明者の氏名を放送すると早く見つかるかと思うが。
答 同報無線の運用規定があり防災課で検討中である。

問 徘徊者居場所確認のGPS機器普及状況は。
答 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。

問 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。
答 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。

問 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。
答 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。

問 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。
答 26年度に事業化し、2100円を上限とした家族の1割負担で、GPS機器の普及に努めている。

【今後の調査】

6月30日（月）委員会
 防災課から同報無線について説明を受け、今後の対応について調査研究を行うことを決定した。

産業建設常任委員会 調査報告

【調査事項】

「産業・観光等の交流拠点について」

【調査の目的】

町が考える交流拠点の調査研究。

【調査内容】

4月21日（月）委員会
 産業課から「交流拠点を主体とした産業・観光について」「魅力創造委員会の提言内容について」聞くことを決定した。

5月9日（金）委員会
 交流拠点の調査のため、観光拠点の整備について質疑した。

下水道課への質疑

6月13日（金）委員会
 下水道課から説明を受け質疑を行った。

問 吉田町公共下水道事業の全体計画は。
答 14年に全体計画区域を826haから920haに変更した。

問 開始から現在までに費やした事業費はいくらか。
答 25年度の決算で292億7570万円であり、全体計画では404億3900万円である。

問 集落排水、合併浄化槽など他の方法の導入は考えているか。
答 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外は考えていない。

問 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えているか。
答 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えていない。

問 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えているか。
答 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えていない。

問 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えているか。
答 公共下水道と合併浄化槽による浄化処理以外の方法は考えていない。

委員長 吉永満榮

委員長 山内均



吉田町交流活性化ビジョン
 吉田の魅力創造委員会作成

議会広報は視覚に訴える

議会広報推進特別委員会視察研修レポート

7月8、9日の2日間にわたり、愛知県幸田町・三重県鳥羽市の両議会にて視察研修した。

わかりやすい 広報紙を目指す

幸田町議会では、「議会だより」について研修。21年度から5年連続で町村議会広報全国コンクールにて優秀賞、奨励賞などを受賞している。

その秘訣

・紙面企画、掲載内容などの協議の充実

市町議会紙	発行部数	ページ単価
幸田町議会	12,700	1.08円
鳥羽市議会	8,200	2.32円
吉田町議会	8,300	3.36円

議会だより制作費
幸田町、鳥羽市は全ページカラー4色刷り
吉田町は、表裏紙面以外2色刷り



幸田町議会視察風景

・全ページカラー印刷
・視覚に訴える紙面構成
・見出しの工夫
・読みやすさ、わかりやすさに重点をおいた文章づくり

吉田町「議会だより」の課題

・全ページカラー印刷
・一般競争入札により印刷料金をおさえる
・文字数をなるべく少なくし、わかりやすい表現
・ゆったりとした紙面づくり
・見出しの工夫
・住民参加の企画
・新聞社の記者による講習を受け紙面づくりの研さん



鳥羽市議会議場設置モニター

ICTで「議会の見える化」

鳥羽市議会は、全国初の議会ツイッタの導入、インターネット生中継など議会ICTの先進地として知られている。議会広報の重要な役割である情報公開の視点からICTについて視察研修した。

無料システムを活用し情報発信

・ツイッターの導入
情報の拡散、ホームページへの誘導を促し、若年層や議会に興味があ



ICT導入効果

SNS、ネット中継により「議会の見える化」が向上し、視聴者は市民の33%である。

薄い人に議会活動を知っていたただく。

（22年2月）
・ユーストリーム開設

原則すべての会議でインターネット放送を開始。

（22年9月）
・ユーチューブ開設

生中継を録画放送するために開設。（22年9月）

※移動用映像カメラ

議員全員がタブレット端末を使用し、メール配信による連絡、資料配布が可能となりペーパーレス化につながっている。

大型モニター設置により資料のパネル表示が得意見やすいものとなる。

視察研修を終えて

両議会に通じること
は、「議会と当局の協力により、住民への情報発信が行われている」ということである。

情報化社会が進んでいる現在のシステムでは住民に十分な情報を伝えられないと考える。

今後、さまざまな手段を活用した議会広報の推進を図っていかねばならないと委員一同の認識が非常に高まった視察研修となった。

委員長 増田剛士

おつかれさんです

川尻区交通安全活動グループ



通称浜田交差点での立哨

子どもたちを
交通事故から守れ

26年3月に榛南幹線が供用開始されて以来、信号機のない通称浜田交差点では、吉田中、中央小PTAや自治会の役員、民生児童委員の皆さんが立哨しています。
川尻区自治会では、交差点の交通安全対策会議を開催し、信号機設置を要望する3185人の署名を牧之原署に提出するとともに、ボランティアの協力で、児童生徒の登下校時に立哨を行うなど地域ぐるみで活動しています。



牧之原警察署による立哨の講習会

田島逸雄会長に聞く
 Q 住民の不安や心配に對し何をしたか。
 A 交通指導員、安全協会、民生児童委員、中央小PTA、町内会長を集め、安全対策会議を設置した。
 Q 今後の活動は。
 A 信号機が設置されるまで、登下校時に事故が起きないようにする。
 Q 交通安全上で心がけていることは。
 A 常に交通弱者を気にかける・スピードを出さない・交通ルールを守る。
 Q 一言アピールを。
 A 一日も早く、住民が安心して通れる榛南幹線にしたい。

ま ず の 話 題



八幡津島神社夏季例大祭奴道中（川尻）



片岡文化展（片岡会館）

議会広報推進特別委員会
 委員長 増田 剛士
 副委員長 平野 積
 委員 山内 均
 枝村 和秋
 大塚 邦子
 藤田 和寿

次の第3回（9月）定例会の予定
 会期：9月2日（火）から9月25日（木）まで
 24日間

TEL 0548-33-2141 FAX 0548-32-9770
 ホームページアドレス <http://www.town.yoshida.shizuoka.jp/>